

事業番号 2022 - 文科 - 新22 - 0006

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

事業名	デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業			担当部局	高等教育局		作成責任者		
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定) 年度	令和9年度	担当課室	専門教育課		専門教育課長 塩田 剛志		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日)</li> <li>「統合イノベーション戦略2021」(令和3年6月18日)</li> <li>「成長戦略フォローアップ」(令和3年6月18日)</li> <li>「デジタル社会の実現に向けた重点計画」(令和3年6月18日)</li> <li>「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」(令和3年6月18日)</li> <li>「AI戦略2021」(令和3年6月11日 統合イノベーション戦略推進会議決定)</li> </ul>				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション、子ども・若者育成支援			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大学院の閉塞性・分野の壁を打破し、高度な専門的知識のみならず、数理・データサイエンス・AI分野のスキルや国際感覚を身に付けた、今後の社会を牽引する高度人材の育成のための分野融合の体系的な大学院教育モデルを構築。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	専門分野×データサイエンス・コンピューターサイエンス分野のダブルメジャーなどの大学院教育推進により、アカデミック・ノンアカデミックにおいて国内外で活躍できるデジタルの素養を持ち合わせた人材を育成。【補助率: 定額補助】								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位: 百万円)	予算 の 状 況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
		補正予算	-	-	-	451	451		
		前年度から繰越し	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-				
		予備費等	-	-	-				
		計	0	0	0	451	451		
	執行額	0	0	0					
	執行率 (%)	-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	-	-	-						
令和4・5年度 予算内訳 (単位: 百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	研究拠点形成費等補助金	450	450	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。					
	研究拠点形成等業務旅費	0.5	0.8						
	研究拠点形成等委員旅費	0.4	0						
	研究拠点形成等業務庁費	0.2	0						
計	451	451							
活動内容 (アクティビティ)	大学院において、データサイエンス・コンピューターサイエンス分野のマイナー・ダブル学位プログラム等を設定し、人文社会系分野において、データサイエンス・コンピューターサイエンスの素養を持った人材を育成する取組を支援します。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	今後の社会を牽引する高度人材の育成のための分野融合の体系的な大学院教育を構築	事業実施件数	活動実績	件	-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	6	6
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
				単位当たり コスト	百万円	-	-	-	70
	執行額(百万円) / 採択数(件)			計算式	百万円/件	-	-	-	421百万円/6件

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 6年度	目標最終年度 9年度
	構築した教育プログラムの 受講・修了	専門分野×データサイエ ンス・コンピューターサイエ ンス分野のダブルメジャーな どの大学院教育を修了した 学生数	成果実績		人	-	-		-
目標値				人	-	-			
達成度				%	-	-		-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	文部科学省調べ								
政策 評価 書 URL 該当箇所	政策	4 個性が輝く高等教育の振興							
	施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上	政策評価書 URL	-					
			該当箇所	-					
<b>事業所管部局による点検・改善</b>									
	項 目				評 価	評価に関する説明			
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	本事業は、「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日閣議決定)等に掲げられた政策を実現するものであり、社会のニーズを反映している。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	本事業は、「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日閣議決定)等に掲げられた政策を実現するものであり、国が実施すべき事業である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	本事業は、「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日閣議決定)等に掲げられた政策を実現するものとして必要かつ適切な事業であり、優先度の高い事業である。			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	本事業は、公募した上で有識者からなる委員会による公平な審査を経てその妥当性や競争性を確保しながら選定する予定。			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○	本事業は、公募した上で有識者からなる委員会による公平な審査を経て国費の負担割合は妥当性を確保しながら選定する予定。			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	単位当たりコスト等の水準は、妥当と考えている。なお、補助金を交付する際は、事業経費の費目・用途の内容について妥当なコスト水準であることを厳正に確認する予定。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-	-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	補助金交付要綱や公募要領で補助対象経費を明示・限定するとともに、交付申請書等により、内容が真に必要なものとなっているか確認する予定である。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-			
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、補助金の使用状況、事業目的との整合性、コスト水準等について確認を行うことを予定。				
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				○	成果目標にふさわしい定量的な成果実績を把握することを予定。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				○	国公立大学を通じた競争的環境の下、国として進めるべき改革を積極的に推進する大学の取組を選定・支援しており、効果的な事業である。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○	本事業は、定量的な活動指標を設定した上で実施することを予定しており、活動実績の着実な向上に向けて実施する予定。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				○	本事業における成果等については、ホームページや各種メディアへの掲載、選定校間の連携による成果発表会等を通じて活用の促進を図ることを予定。			

<b>関連事業</b>	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-
	事業番号		事業名		
<b>点検・改善結果</b>	点検結果	本事業は、「経済財政運営と改革の基本方針2021」(令和3年6月18日閣議決定)等に掲げられた政策を実現するものであり、国が実施すべき事業である。支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性が確保されることになっている。			
	改善の方向性	本事業の実施に当たっては、毎年度の進捗状況・取組実績等を報告書により確認するとともに、中間評価及び事後評価を実施し、評価結果を踏まえた事業内容の改善・定着、成果の普及・発信を行うこととする。			
<b>外部有識者の所見</b>					
外部有識者による点検対象外					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
事業の実施状況等を踏まえ、適切なアウトカムの設定について不断の見直しを図ること。 引き続き事業の着実な実施及び適切な予算執行に努めること。					
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
事業の着実な実施及び適切な予算執行に努める。					
<b>備考</b>					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成23年度	-				
平成24年度	-				
平成25年度	-				
平成26年度	-				
平成27年度	-				
平成28年度	-				
平成29年度	-				
平成30年度	-				
令和元年度					
令和2年度					
令和3年度	2021	文科	新22	0009	

